

シンポジスト: 星 旦二先生(首都大学東京 名誉教授)		
質問者職種	質問事項	回 答
歯科衛生士	地域活動をやめると7割の方がなくなるといふところの対象者年齢層を聞き逃しましたので、お教えてください。	高齢者1.3万人を六年間追跡した結果です。地域活動と趣味活動それに外出を控えると、六年で7割が死亡します。女性は、5割です。
歯科衛生士	眼から鱗の情報が沢山でした。超高齢化社会が進むにつれ、患者さんの高齢化も実感しています。元気に通院できるうちは頑張って通うとおっしゃっていただいておりますが、それも長生きの秘訣なのですね。星先生は、私たち歯科衛生士が院内で様々なストレスを抱えながら働くために、お昼休憩時間はどのように過ごすのが良いとお考えでしょうか？	そのためのエビデンスは、持っていません。十分な休暇がとれることが大事だと思います。
企業所属	歯科医師、歯科衛生士は他の職業や他の医者より長寿でしょうか？	歯科医師は、短命であるデータがあります。職場の雪溶剤濃度が高いこと、働く姿勢が課題でしょうか。
歯科医師	とても心に響く講演でした。色々本を読みたい！と思いましたが、本を書き写す前に、スライドが進んでしまいました。リストをもう一度、写して頂きたいです。間に先生の名前で本を検索しましたがうまく出ませんでした。	なぜ、かかりつけ歯科医がいると長生きか ワニ十出版 ご覧ください。
歯科医師	歯科衛生士の所得が低い原因は、先生はどう考えられますか？	我が国の医療システムは、治療中心です。
歯科衛生士	予防目的での定期受診は保険適応外かと思います。もし国民の予防意識が変わり、自費診療でメンテナンスを受診するようになれば日本の医療費軽減にもつながると思います。意識変容のためにどうすればよいと思いますか？	とても難しいですが、意識改革や制度改革が必要だと思います。

シンポジスト:榎本 紀子先生(YABUKI DENTAL OFFICE)		
質問者職種	質問事項	回 答
歯科衛生士	シンポジウムでとりあげられた「かかりつけ歯科医」とは? 担当制で定期メンテナンスを担当制で行っている医院のことですか?	今回発表発表させて頂いた「かかりつけ歯科医」とは患者さん自身が決める事だと思います。 担当制・定期的なメンテナンスはとても大切です。 患者さんの口腔内だけではなく生活背景も含めて長期継続して診ていくことが大切な事だと思います。
歯科衛生士	咬合の管理は具体的にどのように行われていますか?	咬合に関しては歯の動揺の増加、ファセット・早期接触・チップなどの変化あれば歯科医師に報告し対応しています。
歯科衛生士	貴重な長期症例、大変勉強になりました。一つ目と二つの目のケースでは 破折による抜歯となっておりますが、長期的に患者さんを診ている中での課題は 破折だとお考えでしょうか?	患者さんを長期継続して診ていると歯の破折により抜歯に至るケースが多く見られます。 歯の破折は課題の一つだと考えております。
歯科医師	患者さまの情報が昔からしっかりと撮られています。自分が歯科医院起業する上で、 この項目は必ず情報として取っておくべき、というものはありますか? 例えば、顔貌写真や、定期的メインテナンスにしっかりと来院されている方、されていない方、など...	患者さんを長期継続して診ていく予定であれば、資料は多いにこしたことはありませんが、 どのような形であれ初診時ときちんと比較できることが重要と考えます。
歯科医師	産休も取られているそうで、引き継ぎ衛生士との共有事項やきをつけていることはありますか?	業務記録を参考にしてもらいその他気を付けるポイントを引き継ぎます。 また、患者さんにも引き継ぎする衛生士を紹介するなど患者さんの不安を取り除くなど配慮をしました。